

平成28年 3月1日

上那賀中学校
保護者の皆様へ

上那賀中学校長 三浦 恵子

春の風が快い季節となって参りました。保護者の皆様方にはご健勝のことと存じます。日頃は本校教育活動に多大のご支援ご協力ありがとうございます。

さて、2月に保護者の皆様と生徒に対してアンケート調査を行い、上那賀中学校の教育活動に対する満足度を調査いたしました。集計結果をもとに、平成27年度の学校評価をまとめましたのでお知らせいたします。

★ **調査内容** 次の10項目の質問に対して、次の4段階で回答をいただいた。

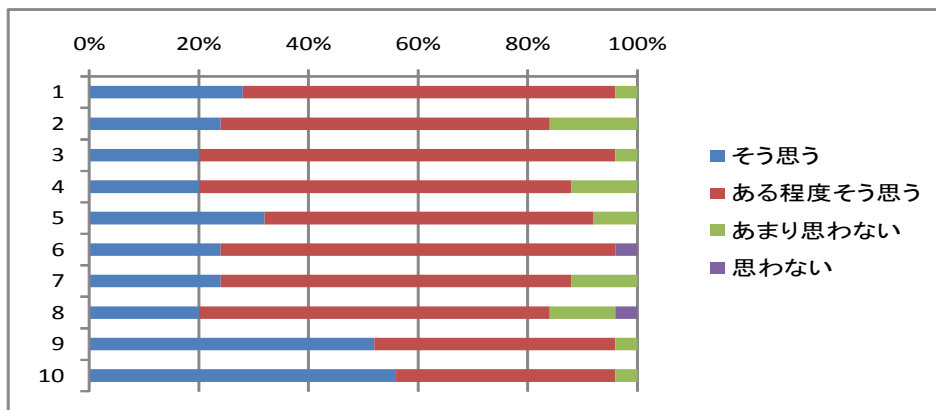
A そう思う B ある程度そう思う C あまり思わない D 思わない

- (1) 校風・伝統を生かして、特色ある学校づくりがされている。
- (2) 生徒や保護者・地域の方の要望を生かした学校行事が行われている。
- (3) 生徒の進路や興味・関心に配慮した授業がなされている。
- (4) 生徒の立場に立ったわかりやすい指導がされている。
- (5) 教職員は個々の生徒の生活や学習の様子について気配りし、適切に注意や指導ができています。
- (6) 一人一人に目を配り、いじめなどのない楽しい学級作りに配慮されている
- (7) 生徒の能力・適正を生かすきめ細かい進路指導がされている。
- (8) 学校行事や部活動を通して、生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導がされている。
- (9) 生徒の健康・交通安全などに配慮された指導がされている。
- (10) 学校や学年の様子について、上中だよりや学級通信などの配布物やホームページで情報提供がなされている。

★ **調査結果**

A **保護者アンケート調査結果**

回収率 100%



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

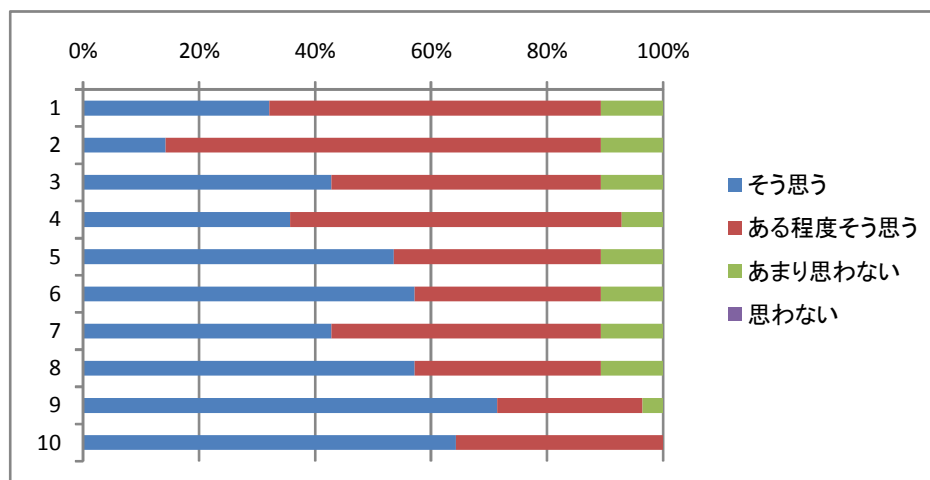
A 30.0% B 61.6% C 7.6% D 0.8%

考察

- (1) 肯定率が全ての項目で80%を越え、平均が91.6%で昨年度より11.6%上昇した。90%を越えているのは、設問1(校風・伝統を生かした、特色ある学校づくり)・設問3(生徒の進路や興味・関心に配慮した授業)・設問5(個々の生徒の生活や学習の様子に配慮した指導)・設問6(一人一人に配慮したいじめのない学級作り)・設問9(健康・交通安全などに配慮された指導)設問10(学校や学年の様子についての情報提供)の6項目であり、昨年度に比べ3項目増えた。また、特に設問3・設問7(細かい進路指導)・設問8(生徒が自主的に活動し、個性が発揮できるような指導)は、昨年の76%からそれぞれ96%・88%・84%に向上した。
- (2) 1年生では設問4・設問7・設問8は、肯定率71.8%であり、設問6には「思わない」という否定的な意見も見られた。また、2年生では設問2が66%で、子どもたちと同様な意見が見られ、設問8には「思わない」という否定的な意見もあった。2年後の閉校を見据え、行事の捉え方・計画・実行に向け再度熟考し、検討を行い、地域・保護者を巻き込み、個々の生徒の自主性を育む活動への取り組みが必要であると考えます。

B 生徒アンケート調査結果

生徒アンケートは保護者アンケートの質問事項を少しわかりやすく表現を変え実施した。
実施率 100 %



全設問の肯定的回答と否定的回答の平均

A 47.1 % B 44.3 % C 8.6 % D 0 %

考察

- (1) 全設問肯定率 80 %を越え、特に設問 10 (学校や学年の様子についての情報提供)は 100% であり、地域社会に開かれた学校として機能していると考えられる。また、設問 4 (生徒の立場に立ったわかりやすい指導)・設問 9 (生徒の健康・交通安全などに配慮された指導)は 90 %台である。設問 6 (いじめなどのない楽しい学級作り)は肯定率は 89 %であるが「そう思う」の比率は昨年度よりも高くなっている。(昨年度 50%→今年度 57%) このことから生徒たちは、毎日安心・安全な環境のもとで楽しい学校生活が送れており、個々の状況に応じた学習ができていると考えられる。
- (2) 肯定率は高いが、設問 2 (要望を生かした学校行事)の「そう思う」の比率が 14.3%と低く、2年後の閉校を見通して、より深く保護者・地域との関わりをもった行事を望んでいると考えられる。行事と総合学習としてのふるさと学習の持ち方に検討が必要である。
- (3) 学年の肯定率の平均は 1年生 88 %、2年生 91 %、3年生 96 % となっており、3年生は上中の顔として校内・校外での活動を行い、やり終えた満足感があらわれているようである。1・2年生は、今行われている 10 分間走のより良い方法や放課後学習等について考え、来年度を見据えて学校に在学するものとして学校への期待・想い・責任感が表れていると考えられる。

★ 教職員による学校評価より

教職員は 1 学期末・2 学期末に詳しく自己評価を実施している。それをもとに、問題点を洗い出し、考察を重ね、次の学期により良い方向へと取組を行ってきた。特に次の項目について共通理解を図り取り組んできた。

- (1) 基本的な生活習慣を身につけさせる指導 (様々な場面におけるマナー・礼儀等)
- (2) 学習意欲を高め、個々の教育的ニーズに応じたわかりやすい授業の実施
- (3) 家庭学習の定着を図るための手立て
- (4) 防災・安全指導を組織的に行うこと
- (5) 人権問題学習の計画的な実施による心の教育

★ 総括・おわりに

保護者 (91.6 %) 生徒 (91.4 %) と全設問に対して肯定的な評価が高く、おおむね平成 27 年度上那賀中学校としての教育活動に成果があったと考えられる。家庭・地域・関係機関の協力を得て、少数の子どもたち一人一人をいかし、「今日も来てよかった。明日も来たい。」といえる学校をめざして、全教職員で取り組んできたことが成果として表れてきているのではないだろうか。そして、子どもたちと教職員がワクワク感を持って様々な活動に取り組めた結果と思う。しかし改善しなければならないところもある。この結果に満足することなく、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、生徒一人一人と向き合い、信頼関係を深め、より分かりやすい授業やきめ細やかな生徒指導を行わなければならない。そして、2年後の閉校に向い、将来を見据え、校訓「自ら鍛える」にもあるように自分を見つめ、自己に厳しく地道に努力を重ね、上那賀中卒業を誇りとし、たくましく生きていく力を育成しなければならない。今後はさらに、学校・学年便りやホームページ等を有効に活用し、保護者や地域の方々の意見を聞き「開かれた学校」づくりに取り組んでいきたい。

